

第三者評価結果の公表事項(母子生活支援施設)

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 旅人とたいようの会

② 評価調査者研修修了番号

SK2021128 2018-1、SK2021130 2006-28、SK2021129 2019-5

③ 施設の情報

名称：サン・フラワー華陽	種別：母子生活支援施設		
代表者氏名：西脇 正博	定員（利用人数）： 20 世帯		
所在地：岐阜県			
TEL：058-262-1551	ホームページ： http://sunflowerakyo.na.coocan.jp		
【施設の概要】			
開設年月日 1940年1月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 興生会			
職員数	常勤職員：	6名	非常勤職員 5名
有資格 職員数	（社会福祉士）	2名	保育士 3名
	（心理療法士）	2名	
施設・設備 の概要	（居室数）	20世帯	（設備等）
	職員室 1 集会室 1 静養室 1 相談室 1 プレイルーム 1 カウンセリングルーム 1		

④ 理念・基本方針

理念

つなごう未来へ 咲かそう笑顔 かがやけ希望の光

基本方針

- 1、福祉サービスの実践にあたっては積極的な姿勢で臨みます。
- 2、子どもの権利擁護を最優先し、常に最良の環境と条件のもとで心身とも健やかに育成されるよう努めます。
- 3、利用者の自立を願い、利用者の自己実現のために必要なサービスを提供します。

⑤施設の特徴的な取組

- ・常時、緊急な受け入れに、24時間対応している。緊急な受け入れ時の利用者が、生活に必要な必需品や子どものお菓子等を準備している。
- ・DV・不債務者・離婚破産・債権者にも積極的に法的支援として困っている人の手助けをしている。
- ・小中学生の学習支援として、個別通塾の経済的支援・高校生の授業料の助成・児童の学力向上目的の学習ボランティアを受け入れている。
- ・退所後の自立に向けて子育て、日常生活、就労に向けて支援をしている。
- ・常に職員が寄り添い信頼関係を築き、親子関係や家族関係の構築に支援をしている。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（和暦）	令和4年9月9日（契約日）～ 令和5年1月18日（評価結果確定日）
前回の受審時期 （評価結果確定年度・和暦）	令和2年度

⑦総評

◇特に評価の高い点

- ・「つなごう未来へ・咲かそう笑顔・かがやけ希望の光」の理念に基づき母親と子どもが安心して自立した生活ができるよう支援をしている。
- ・管理者は積み重ねた経験と高い理想と信念を今の母子生活支援に生かしている。時代の変容とともに、母子の心の傷もDV・離婚などに変化してきているが、職員は常に母親と子どもに寄り添い見守り自立につながるよう支援をしている。管理者は職員に対して、課題に向かって「できる、できない」ではなく「どうしたらできるかを考えるように」と、母親と子どもの支援優先を常に言葉にしている。
- ・職員は母親や子どもに対して常に寄り添い自分でできることを自問自答しながらきめ細やかに支援している。
- ・施設内の居住部分は各部屋とも鍵付きの2DK、バス、トイレ付きで、個々のプライバシーの確保された生活ができるようになっている。
- ・学習室では学校から帰った子どもが母親の帰りを待ちながら宿題をし、友だちと和やかに会話を楽しみ、近隣の児童が、放課後の留守家庭保育や公民館保育に馴染めず当施設に立ち寄り時間を過ごす子を優しく受け入れボランティア大学生の学習支援に参加したりなど地域の子育てに貢献している。
- ・近々他法人への移譲のため施設の理念・基本方針・利用者の生活、職員の処遇など様々な事柄を安定して継続し移していけるよう努めている。

◇改善を求められる点

- ・職員の育成やキャリアアップの取り組みが未整備である。個々の目標に向けた研修体制の構築と研修効果を検証する仕組み作りを期待する。

・標準的な支援方法の確立について職員間での確認と見直しされることを期待する。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

前年度より、施設利用者の減少と退職職員の補充が間に合っていないという問題を抱えておりますが、今回の福祉サービス第三者評価受審にあたって、在職職員にとって力のある励ましをいただいた気持ちです。

今後は、他法人との合併を進めていくこととなりますが、これからも利用者や職員が安心して生活できる場として「サン・フラワー華陽」が活躍できますよう、職員も継続して努力してまいります。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。